外国語活動	第５学年	江田島市立鹿川小学校	指導者　岩田晃志 ALT Michael JOLLY

単元名

「友だちと共通点を見つけよう」
～What's this?～（Hi, Friends!1 Lesson7 / Let's Try! 1 Unit8）

本単元で育成する資質・能力　問題解決力　共感・受容・敬意

日　時　　令和元年７月４日（木）　第５校時
学　年　　第５学年１組　18 名

１　単元について

（１）単元観

○　本単元では,「これはなにか。」を尋ねたり答えたりする表現である「What's this?」について扱う。

新学習指導要領

> 聞くこと
> ア　ゆっくりはっきりと話されれば，自分のことや身近で簡単な事柄について，簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。
>
> 話すこと[やり取り]
> イ　日常生活に関する身近で簡単な事柄について，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

の領域別の目標を受けて設定する単元であり，移行期間にあたり，「Hi, Friends!」や「Let's Try!」の内容を複合的に扱う。

教材として，動物や植物，身の回りの物を取り上げることで，これまでの生活経験や学習を生かすことができ，自然と興味関心を持ちながら活動に取り組めるようになっている。また，外来語とそれが由来する英語との違いにも気付かせることができる単元である。

（２）児童観

○　「小学校外国語活動実施状況調査」の児童アンケート（５月実施）の結果を分析すると，本学級の児童は，外国語活動の授業に意欲的に取り組んでいることが分かった。学習の様子を見ても，ＡＬＴとのやり取りや，英語を「聞く・読む・話す・書く」活動に意欲的に取り組んでいる様子が多く見られる。また，「聞くこと」に関する項目では，95％程度の児童が肯定的評価をしていることから，昨年度，「聞くこと」を重視した外国語活動を経験したことで，英語を聞いて大まかな内容を捉えたり，必要な情報を得たりすることに自信を持っていることが分かった。

一方，「話すこと」に関する項目では，「相手の言ったことにうなずいたり，英語で返事をしたりしている。(83％)」「自分の気持ちや考えを伝えている。(83％)」と，おおむね肯定的に捉えているものの，他の項目に比べ低い傾向がある。

また，「英語を使う場面を考えながら活動しています。(78％)」という項目から，学習した表現をどのような場面・状況で使うことができるかをより意識させる必要がある。

（３）指導観

○　指導に当たっては，単元を通して，英語によるやり取りを多く経験させることを指導の中心に据えることで，英語を使ったコミュニケーションの楽しさや面白さを実際に体験することができるようする。そのため，以下の２点について留意する。

【１】英語を聞いたり話したりすることへの抵抗感や不安感を少しでも減らすために

①　児童が「伝えたい。」「言いたい。」と思えるような発話する必然性のある文脈を設定することで，単純な英語を繰り返し練習するような活動ではなく，英語でのコミュニケーションを多く経験させるようにする。

②　食べ物など身の回りにあるものを学習教材として取り上げるとともに，その絵や写真，具体物などを提示することで，初めて出合う英語の音や文字でも，意味を類推できるようにする。

③　歌を歌ったり，短い会話をしたりしながら，新しく学習する英語の表現を繰り返し聞かせたり，使ったりすることで，自信を持って英語を話すことができるようにする。

【２】『外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方』を働かせながら活動に取り組めるようにするために

【外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方】
　外国語で表現し伝え合うため，外国語やその背景にある文化を，社会や世界，他者との関わりに着目して捉え，コミュニケーションを行う目的や場面，状況等に応じて，情報を整理しながら考えなどを形成し，再構築すること

　本単元では，英語でのコミュニケーションを通して，他者理解を深めることに取り組む。単元のゴールの活動として，児童が描いた絵について「What’s this?」やこれまでに学習した表現を使いながら質問し合う活動に取り組ませる。その活動に向けて，第１時と第２時では，ALT とのやり取りを通して，「What’s this?」の表現に慣れ親しんだり，身の回りの物などについての語彙に慣れ親しんだりする活動を行う。第３時では，「What’s this?」などを使ってやり取りを続ける活動に挑戦する。やり取りを充実させるために，質問したり，同意や応答したりする英語表現に慣れ親しませる。単元を通して，「What’s this?」と尋ねたくなるような写真や具体物を見せ合うことで，習得させたい語彙や表現を活用する目的，場面，状況を明確にし，学習の必然性を持たせるようする。

　また，学習についての振り返りを毎時間行うことで，児童自身が自己の学習の成果や課題を客観的に捉え，次の学習に生かすことができるようにする。

２　単元構成

単元目標	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
	相手に配慮しながら，質問したり質問に答えたりしようとする。	身の回りの物の言い方や「ある物が何か」を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	外来語とそれが由来する英語の違いに気付く。
言語材料 （下線：新出）	【表現】 What's this?　Hint, please.　It's (a fruit).　It's (green).　It's (a melon).　That's right. 【語彙】 数(１～30)　果物・野菜　飲食物　動物　色　形　状態・気持ち		

単元の特徴や児童の実態を踏まえて

児童の目指すべき姿	外国語に関する技能				資質・能力	
	聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと	問題解決力	共感・受容・敬意
	身の回りの物の言い方や「ある物が何か」を尋ねたり答えたりする表現を聞き取っている。	*本単元では設定しない。	相手の質問に答えたり，自分から質問したりして，自分の考えや気持ちを伝えている。	*本単元では設定しない。	学習したことを基に，何をどのように伝えたらよいかを思考・判断し，表現することで，課題を解決している。	自分と異なる意見や感じ方があることに気付き，広い心で他者に接しようとしている。

児童の目指すべき姿から考えて

単元のゴール	☆　友達が描いた絵について質問することを通して，友達への理解を深める。
	【やり取りの例】 S1: What's this?　S2: It's a melon. S1: Oh, a melon. Do you like melons?　S2: Yes, I do. I like melons. How about you? S1: No, I don't. I don't like melons.　S2: I see. What fruit do you like? (「What's this?」などの表現を使い，２往復程度のやり取りを目指す。)

３　単元の計画（全４時間）

時		学習内容（□は使用表現，○は活動例，【　】は重点化する英語の技能）	評価の観点 コ	評価の観点 慣	評価の観点 言	評価規準	評価方法
課題の設定・共有	1	Goal　身の回りのものについて質問しよう。 ☆Small Talk：What's this?(T-S) 【聞】身の回りの物の言い方や「ある物が何か」を尋ねたり答えたりする表現を聞き取る。 ○Let's Listen【Hi, friends! 1】　○ポインティングゲーム ①T: **What's this?**　S: (A dog).　T: **That's right.** ②T: **What's this?**　S: **Hint, please.**　T: It's (yellow). S: (A banana).　T: Great.			○	●外来語とそれが由来する英語の違いに気付くことができる。	行動観察 振り返りカード
情報収集	2	Goal　「どれのことか」考えて聞こう。 ☆Small Talk：What's this?(T-S) 【聞】身の回りの物の言い方や「ある物が何か」を尋ねたり答えたりする表現を聞き取る。 ○Let's Play 2【Let's Try!1】　○ポインティングゲーム ①T: **What's this?**　S: (A dog).　T: **That's right.** ②T: **What's this?**　S: **Hint, please.**　T: It's (yellow). S: (A banana).　T: Great.		○		●「ある物が何か」を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	行動観察 振り返りカード
	3（本時）	Goal　やり取りを続けて，友だちと共通点を見つけよう。 ☆Small Talk：What (　　) do you like? 【話】相手の質問に答えたり，自分から質問したりして，自分の考えや気持ちを伝える。 ○インタビュー(T-S / S-S) S: What's this?　T: It's (a dog).　S: Oh. Do you like (dogs)? T: Yes, I do. How about you?　S: Me, too. I like dogs. T: I see.	○			●どのような質問や反応をしたら良いか考えながらやり取りしようとしている。	行動観察 振り返りカード
まとめ・創造・表現	4	Goal　やり取りを続けて，友だちと共通点を見つけよう。 ☆Small Talk：図形を使ったやり取り(T-S) 【話】相手の質問に答えたり，自分から質問したりして自分の考えや気持ちを伝える。 ○紹介カード作り　○やり取り S1: What's this?　S2: It's (a dog). S1: Oh. Do you like (dogs)?　S2: Yes, I do. How about you? S1: Me, too. I like dogs. ・・・	○			●質問し合いながら，自分の考えや気持ちを伝えようとしている。	行動観察 振り返りカード 作品

４　本時の展開

（１）本時の目標

〇他者理解を深めるために，相手の質問に答えたり自分から質問したりして，やり取りする。

（２）本時の評価規準【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

〇どのような質問や反応をしたら良いか考えながらやり取りしようとしている。

（３）学習の流れ

過程	学習サイクル	児童の学習活動	指導者の活動		・指導上の留意点 〇具体の評価規準 （評価方法）
			T1	T2（ALT）	
導入（Introduction）	ステップ１（考えをもつ）	1　Greeting 挨拶をして学習の雰囲気作りをする。	Good afternoon! How are you?	Good afternoon!	
		2　Small Talk テーマに沿った英語のやり取りを楽しむ。	Let's talk with 3 people.	*Ask STs "What (sport / food / fruit …) do you like?"	・効果的にやり取りしている児童を取り上げ評価する。
		What's this? を使って，教師，ALT，児童を交えたやり取りを行った後，児童同士でやり取りを経験する。			
		3　Today's goal 本時のめあてを確認する。	Check today's goal.		
		やり取りを続けて，友だちと共通点を見つけよう。			
		4　Activity ・インタビュー① 教師と児童とでやり取りをしながら，どのような質問や反応をするとやり取りが広がるか考える。	T1: Look. (抽象図を見せる) T2: What's this? T1: It's a dog. T2: I see. Do you like dogs? T1: Yes, I do. I like dogs. How about you? T2: Me, too. I like dogs and cats.		・『問題解決力』について触れ，「繰り返し」「応答」「質問」など，やり取りを続けるコツを板書で全体共有する。 ・段階的にやり取りを増やすことで自信を持って取り組めるようにする。
			どんな質問や反応をするとやり取りが広がるかな。		

「繰り返し」 *You* like dogs.
「応答」Me, too.　I see.　OK.
「質問」Do you ~?　What (　) do you ~?　How about you?

<table>
<tr>
<td rowspan="2">展開（development）</td>
<td rowspan="2">ステップ２（伝える）→ステップ３（考えを深める）</td>
<td>・インタビュー②
児童同士で,「自分のお気に入り」を図形で表し，それに質問をし合うことでやり取りを行う。
適宜，やり取りのコツを共有しながら，ペアを替えて，繰り返し行う。</td>
<td>Let’s interview.
どんな質問をしてみましたか。
言い方が分からない表現がありますか。</td>
<td>*Help STs who are stuck.
*Evaluate STs.</td>
<td>・必要に応じてワードブック(ぼーぐなん)を参考にさせる。

〇どのような質問や反応をしたら良いか考えながらやり取りしようとしている。【コ】
（行動観察・振り返りカード）</td>
</tr>
<tr>
<td colspan="3">【やり取りの例】
S1: What’s this? S2: It’s (a dog).
S1: Oh. Do you like (dogs)? S2: Yes, I do. How about you?
S1: Me, too. I like dogs. S2: I see.

「繰り返し」「応答」「質問」などの表現やジェスチャーを使い，できるだけやり取りを続けるようにする。</td>
</tr>
<tr>
<td rowspan="2">まとめ（summary）</td>
<td rowspan="2">振り返り</td>
<td>5　Reflection
本時の学習について，活動面と言語面での振り返りをする。</td>
<td>Write your reflection card.</td>
<td></td>
<td rowspan="2">・振り返ることで，学習成果を客観的に捉えさせ，次の学習に繋げるようにする。</td>
</tr>
<tr>
<td colspan="3">振り返りの視点
・できるようになったこと　・友だちから真似できそうなこと
・次に生かしたいこと　・初めて分かったこと
など，**言語面**と**活動面**での振り返りをする。

児童の振り返りの例
〇言語面（知識・理解について）
・Me, too.を使えば，自分も同じだということが伝えられる。
・I を You にかえると，相手の言葉をくりかえすことができる。
〇活動面（思考力・判断力・表現力等について）
・やり取りをして，〇〇君は□□が好きだと初めて分かった。
・同じ表現しか使えなかったから，次は表現を増やしたい。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>6　Greeting
挨拶をして学習を終える。</td>
<td>That’s all for today.
Thank you!
See you!</td>
<td>Thank you!
See you!</td>
<td></td>
</tr>
</table>

（４）　板書計画

Big Smile
Eye Contact
Clear Voice

Today's Goal

7/4　やり取りを続けて，友だちと共通点を見つけよう。

Greeting
Chat
Small Talk
Today's Goal
Activity
Reflection
Greeting

やり取りを続けるコツ

あいさつ
名前を言う
自分の考えを言う
相手の考えを聞く
質問できる
反応できる

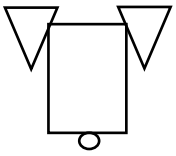
質問

・What's this?
・Do you like ~?
・Do you have ~?
　- Yes, I do.
　- No, I don't.
・What (　) do you like?
　- I like (　).
・How about you?

反応

・I see.　・Me, too.
・OK.　・Oh, no.

繰り返し

I like dogs.
↓
You like dogs.

What's this?